

お詫びと訂正

月刊ナーシング 2017年6月号 (Vol.37 No.7) の連載「ナースが知りたい！ 認知症のハナシ」第6回「アルツハイマー病」におきまして、p.122, および p.123・表1「DSM-5による認知症とAD診断」の認知症の定義について記載の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

(2017年6月5日)

頁数	誤	正
p.122 本文右段 下から12行目	～ <u>2つ以上</u> の認知機能が病前のレベルから明らかに低下し、生活障害がある場合を認知症(大神経認知障害)と定義します。	～ <u>1つ以上</u> の認知機能が病前のレベルから明らかに低下し、生活障害がある場合を認知症(大神経認知障害)と定義します。
p.123 表1「DSM-5による認知症とAD診断」内、 「1. 認知症(大神経認知障害)診断」の2行目	複雑性注意, 実行機能, 学習と記憶, 言語, 知覚運動機能, 社会的認知のうち <u>2項目以上</u> が明らかに低下し生活障害がある	複雑性注意, 実行機能, 学習と記憶, 言語, 知覚運動機能, 社会的認知のうち <u>1項目以上</u> が明らかに低下し生活障害がある